

令和6年度改善方策について実行した改善結果

教育目標	◎友だちをたいせつにしよう ○じぶんから進んで学ぼう ○力を合わせてやりぬこう ○健康なからだをつくろう	目指す 学校像	児童にとって、学んでよかったと思える学校 教職員にとって、働いてよかったと思える学校 保護者・地域にとって、支えてよかったと思える学校
------	---	------------	---

重点目標1	重点目標	豊かな人間性「思いやりのある子を育てる」
	令和6年度の改善方策	○児童が相手意識をもって自分の思いや考えを伝えることができるような学習活動の工夫をする。
	実行した改善結果	○国語科の授業において、自分の思いや考えを論理的に組み立てて発表し聞き合う活動をどの学年でも取り入れることで、普段の学校生活の中でも育んだ力を活用できるようにした。 ○児童同士のトラブルなどで教師が聞き取りする場面では、傾聴的な姿勢で臨み、児童の思いを引き出すようにした。
重点目標2	重点目標	豊かな知力「探究的な学びを通し、確かな学力を育む」
	令和6年度の改善方策	○算数での探究的な学びを校内で推進し、校内研究やOJT研修を通して、教員一人一人の授業力を高める取り組みを行う。 ○探究的な学びと並行して児童一人一人が確かな学力を身に付けられるように、ドリルを活用した反復学習を行っていくとともに、取り出しや少人数指導などの個別支援も充実させていく。
	実行した改善結果	○令和7年度は低中高学年1本ずつ年間3回の研究授業を算数科で行い、校内全体で探究的な学びの推進に向けて指導力を高めることができた。OJTも月に1回行って、授業力を高めることができた。 ○ドリルを活用した反復学習を全学年で行っていき、2～6年生での取り出しと少人数指導も年間を通して行った。
重点目標3	重点目標	健やかな身体「体力の向上と健康の保持増進」
	令和6年度の改善方策	○9月に大学教授を招聘して、学校保健委員会を開催する。「睡眠と健全な心と体の育成」をテーマに保護者に睡眠の大切さについて啓発活動を行っていく。
	実行した改善結果	○日本体育大学の野井先生を招聘して、9月に学校保健委員会を開催した。当日は、「早寝・早起き・朝ご飯」を実現するために、「光・暗闇・外遊び」をキーワードに児童の健全な心と体の育成に必要なノウハウをご講演いただき、保護者への啓発を行うことができた。